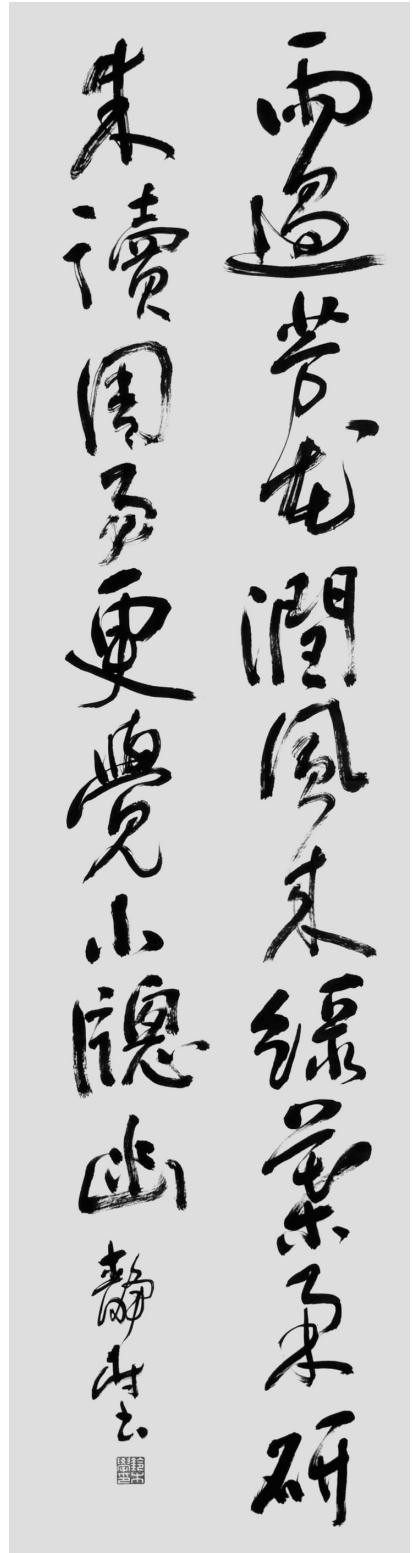


A

鈴木静村書

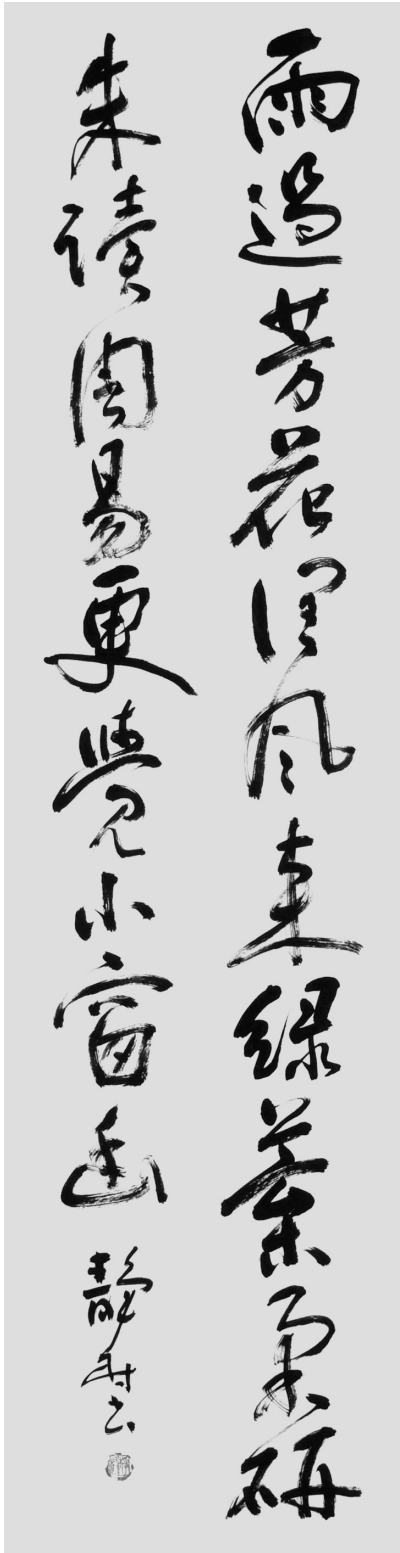
雨過芳花潤 風來綠葉柔 研朱讀周易 更覺小牕幽 (錢鳳紉)
 雨過ぎて芳花潤い、風来りて緑葉柔かなり。朱を研りて周易を読めば、更に小牕の幽なるを覚ゆ。



B

概観

20文字三行書きの場合、右行は凡そ11文字前後、要はタテへの流れを作りたい。これが定石である。ただタテへの流れの中に、どこかひっかかるころがほしい。川の流れの中に見る、形のちがった小石のように。書では滞りの「味」である。作品は滑らか過ぎても、滞り過ぎてはいけません。



主な文字について

雨過 A 連綿「過」に字幅。B「過」末画もつと長くする。芳花 A ムリに実画連綿はしない。Bは意連で可。潤風来 渴筆でいねいに、「風」の相違留意。緑葉柔研 A B 墨継ぎ、少々細線で変化。朱読周易 A B 渴筆慎重、線に工夫を。B 四字中の字幅一考を。更覺小牕幽 A B 墨継ぎ「牕」字体多い。字典で調査引用を。

訳：雨が通りすぎて花の香は潤い、風が吹くと緑の葉は柔らか。朱墨をすって「周易」を読んでいると、小さな窓はさらにひっそりと感じられる。

予告 (五月二十二日締切)

太平時節難身遇

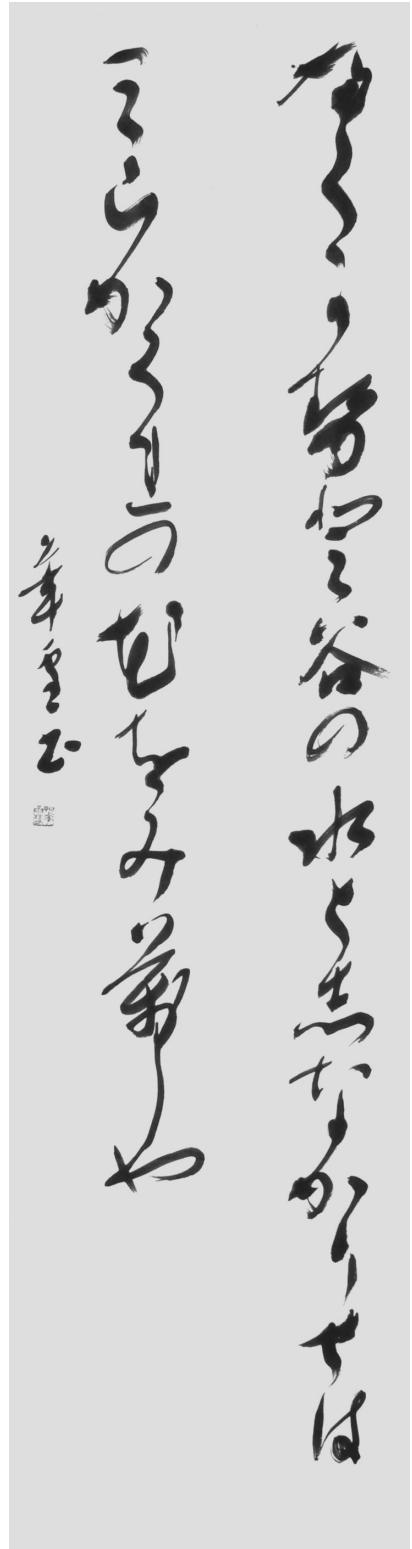
郎署何須歎二毛 (韓愈)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

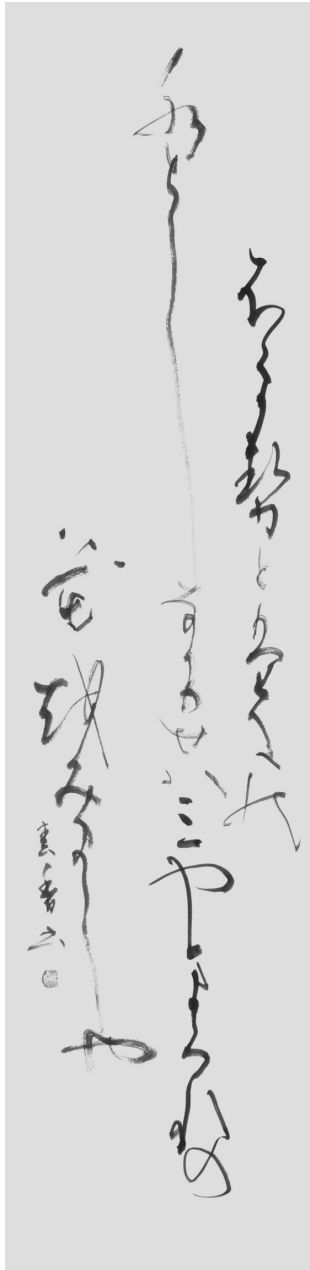
吹風と谷の水としなかりせば深山がくれの花を見ましや (古今和歌集 紀貫之)
 婦久可勢登谷の水と志なかりせば三山か久連の花をみ萬しや



B

石原春香先生書

不久可勢と堂尔能水とし奈可利せ八三や万可くれの花越み未しや



学 び 方

「婦久可勢登」を一気にリズムミカルに連筆して下さい。「婦」と「久」の間に出来た白は「婦」のつくりの部分をつくるとさげた事によって生れた白です。墨量のやや多い華雪先生の作品は連綿線の太細の変化で作品を明るくしています。筆管を押す、つり上げるの強弱とリズムです。「なかり」の「かり」は中心移動法により動きを出しています。初心者は何でも中心におさめたがりがちですがそれが行の動きがなくなります。「か久連」もそうです。墨つぎは一行目下部「せば」でしょう。

次に連綿について。「婦久可勢」「と志」「なかり」「山か久連」「をみ」「萬しや」2字・2字、3字・3字の様と同じものが続いています。作品づくりには欠かせない注意点です。

私は作品づくりをする時、行の広狭、疎密、文字の大小、潤濁など素案づくりの時に考えます。今月から三ヶ月かなにしかない「散し書」を学びます。三行書で墨つぎは「や万可くれ」の「や」です。寸松庵色紙は散らし書きの最高手本です。手にとって毎月の半紙作品におきかえてみましょう。

予告

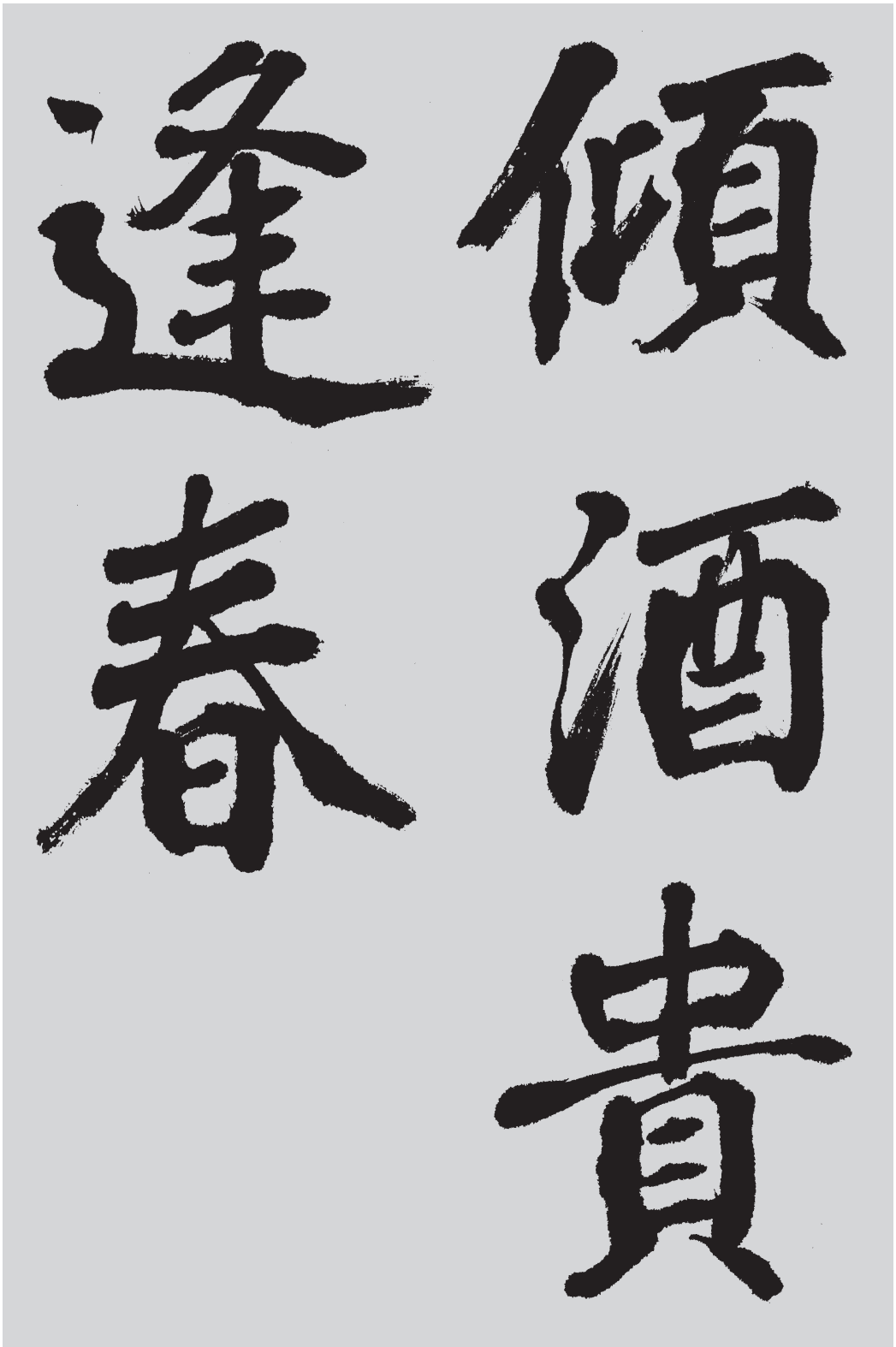
(五月二十二日締切)

あふちさくそともの木かげ露をちて五月雨はる、風わたるなり (新古今和歌集)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

酒を傾くるは春に逢うを貴ぶ(宋之問)



訳：酒を傾けるのは春の頃が一番よい。

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

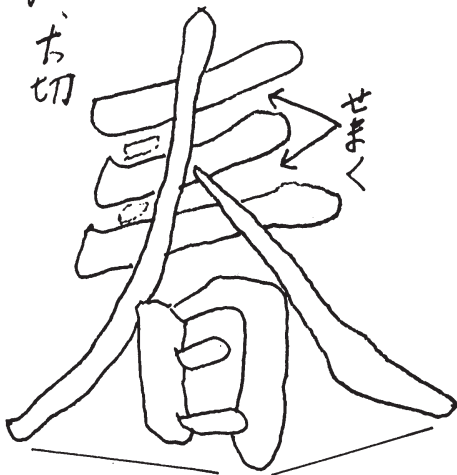
- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

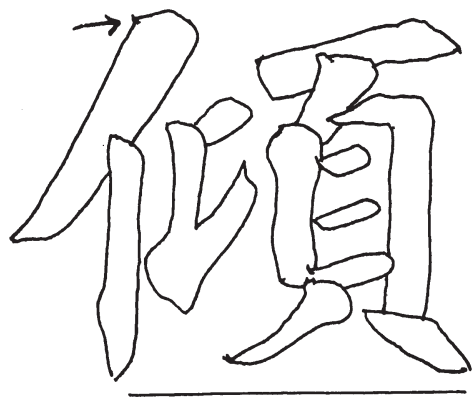


たくでっしりと

間、古切

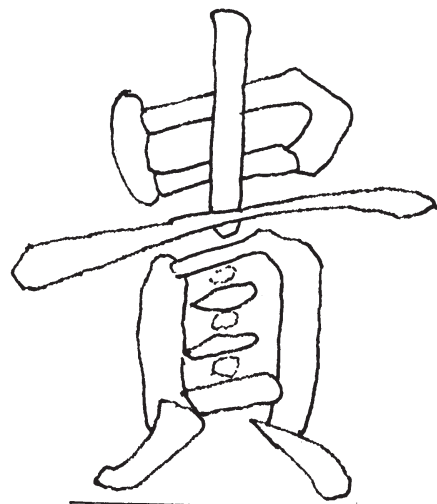
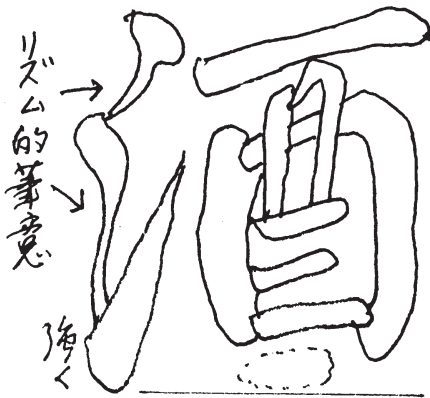


せまく



リズム的筆意

強く

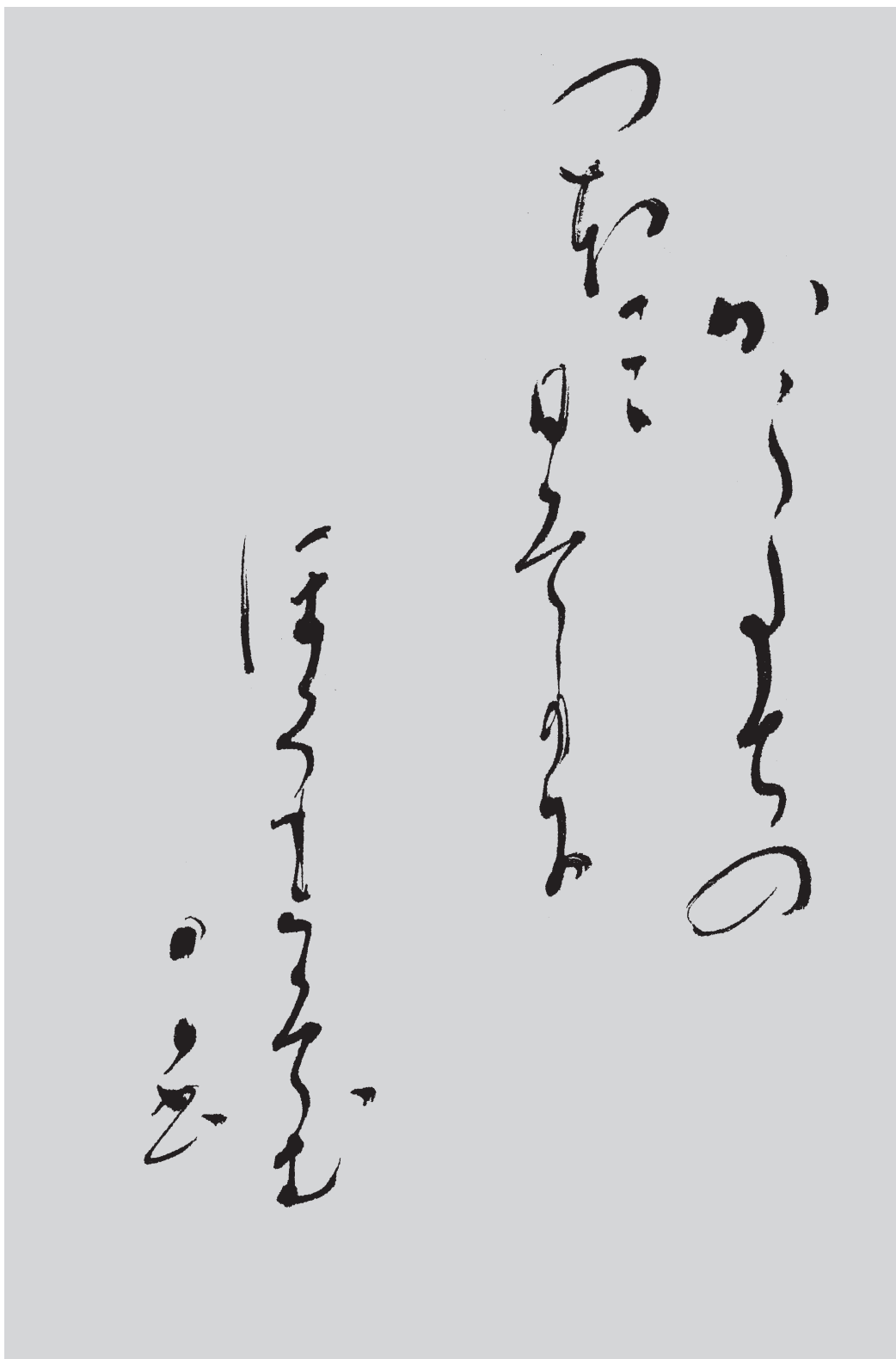


接筆に神経を

「春、酒」の末画部分を「傾、貴」の末部（ハ）は、それを小締めとしてポイント部分。左右の各画との接筆（画のくっつき）を、神経を働かせてほしい。締めの利った活きのよさを。

平岡華雪先生書

からたちのつぼみひそかにほぐれそむ(清風郎)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①かな部
 - ②支部名または都道府県名
 - ③氏名または雅号
 - ④新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

手本通りに挑戦

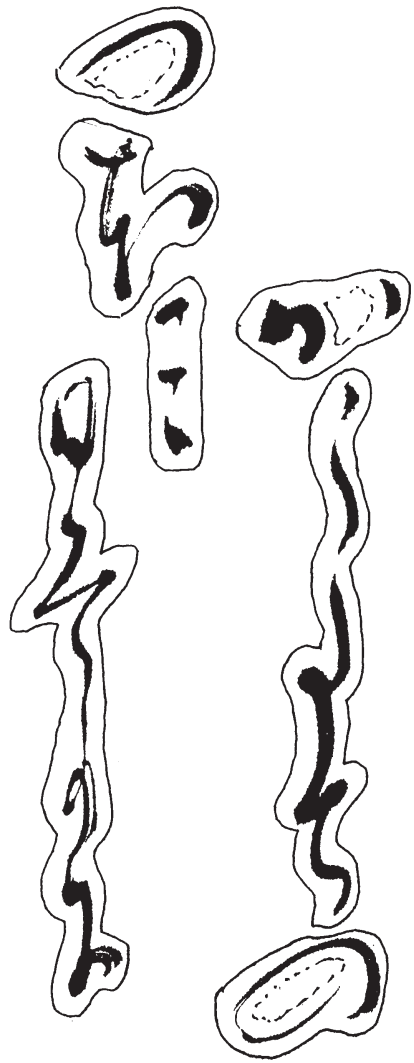
善雪先生の「時折り鋪打のいな」

(手折は、要俣のな)のみにする表

現。臨書して気付くことは、微妙な

筆立ちに触れる。初歩段階ではおぼろしい課題かと思うが、

挑戦する、この大印。文字を替えることなく、この課題文字のままに、自分の力を試してほしい。



「ら」腰を細め、「多ち」
 後の連綿。「の」細身で
 字幅。「本」点大きく弾く。
 「三」鋒をピンピンと突き出
 す。「日」そ可尔「織」細な筆
 意の四字連綿。
 「ほ」久連をむ「連綿」の受け
 筆的確にききまひと。

本田博雪先生書

山中夕陽芳草路 橋邊流水落花村（王越）
山中の夕陽芳草の路、橋辺の流水落花の村。

山中夕陽芳草路
橋邊流水落花村
博雪書

訳：夕日は山すその芳草のしげる路を照らして、流水は橋のそば落花の村を通っている。

加藤愁雨先生書

わかれての後のべとやゆく春の日数に花の咲きあまるらむ
（新拾遺和歌集 藤原家良）
わかれて能後のべとや遊ぶ春の日数耳花の咲きあまる羅牟

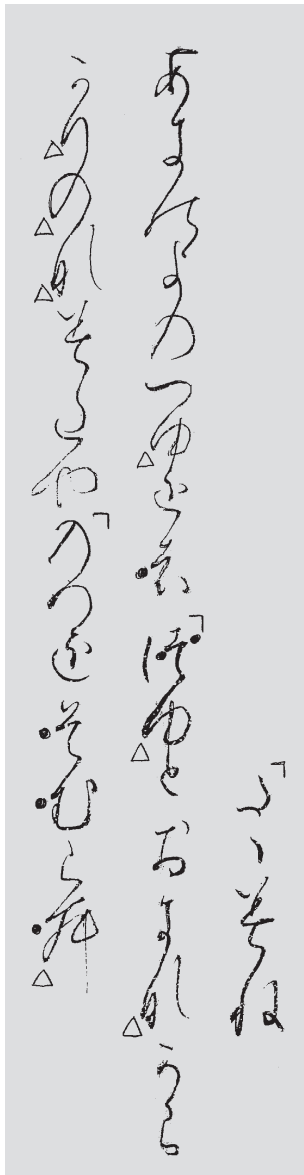
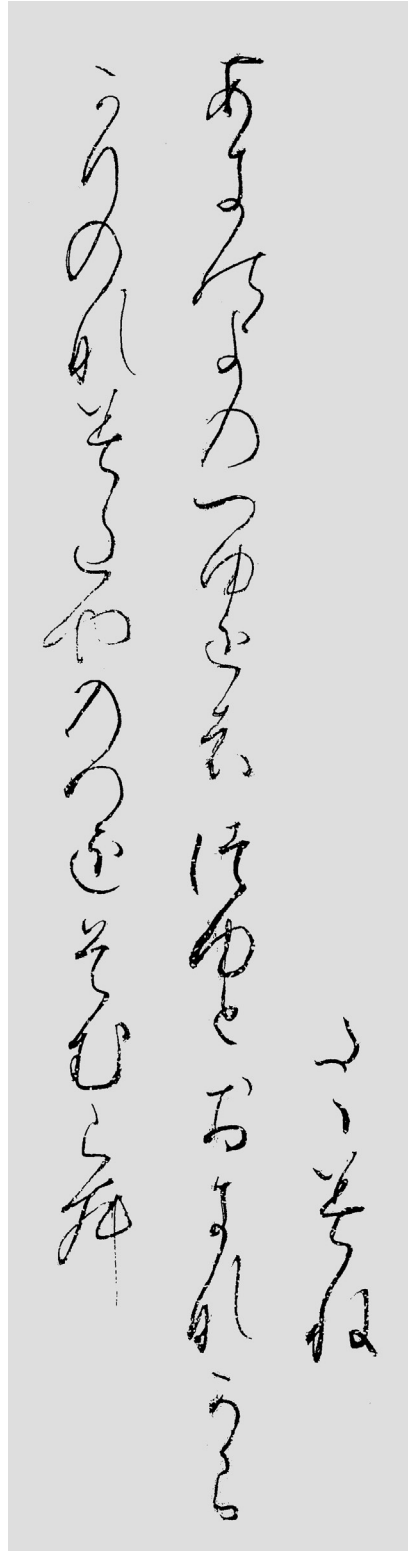
わかれての後のべとやゆく春の日数に花の咲きあまるらむ
わかれて能後のべとや遊ぶ春の日数耳花の咲きあまる羅牟
愁雨書

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

題 課 部 書 臨 幅 条

川上香蓉先生担当 高野切第二種 伝紀貫之筆(二玄社)

※条幅臨書部は出品料無料です。



△臨書のポイント▽

臨書をする時に大切なことは、まず原本の形・線・リズム

△・墨色を余白等を考えながら正確に書き写すことで、細

かい観察が必要です。

左下への斜線が多い。

○高野切第二種は一種・三種に比べ線は強く同一技法の線
○同形の文字は特に変化をつけることなく何回出てきても
同じ筆致で運筆し、不自然な変化は求めている。

○墨継ぎの箇所は明快で潤濁は自然で美しい。
○粘り強く呼吸の長い線で全体が組み立てられている。
○一字一字を完全に書き終えてから次へ連綿しているの
で、右回転部分はゆったりと大きく、む 最後の点は高く、ら舞
鋒先を利かせて最後はすっきりと収める。

△学び方▽

今回の歌で、墨継ぎの箇所は「」で示した三箇所です。●印は強く突き、△印は突き返す部分です。たゞみねの最初の含墨そのままに歌も多めの墨で書き続ける。

あきのよのつゆをばつゆとおきな (あき: 文能, つゆ: 若徒, おきな: 多美)
かりのなみだやのべをそむらむ (かり: 那美多, なみだ: 舞, や: 可, のべ: 可, らむ: 舞)

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

酒井香雨先生書

結契在良友（嚴果）
契まじりを結むすぶ良友りょうゆうに在あり

結契在良友
結契在良友
結契在良友

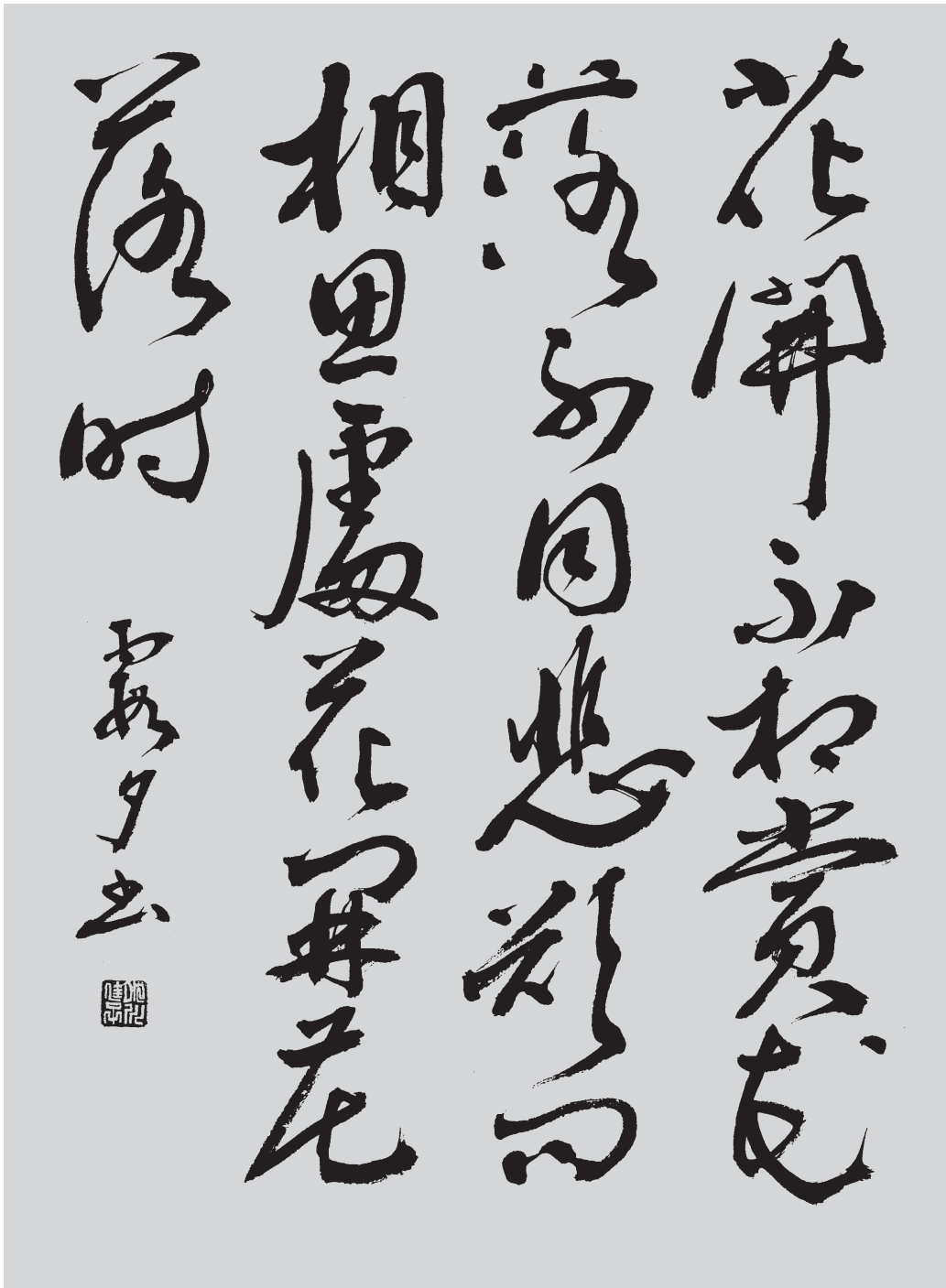
香雨書

訳…交際を結ぶには良友の外にないことを知らねばならぬ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

外川霞夕先生書

花開不相賞 花落不同悲 欲問相思處 花開花落時（薛濤 春望詞）
花開ひらいて相あに賞あみず 花落はちて同おに悲かなします 問とわんと欲ほす相思せしのところ 花開ひらき花は落はつる時

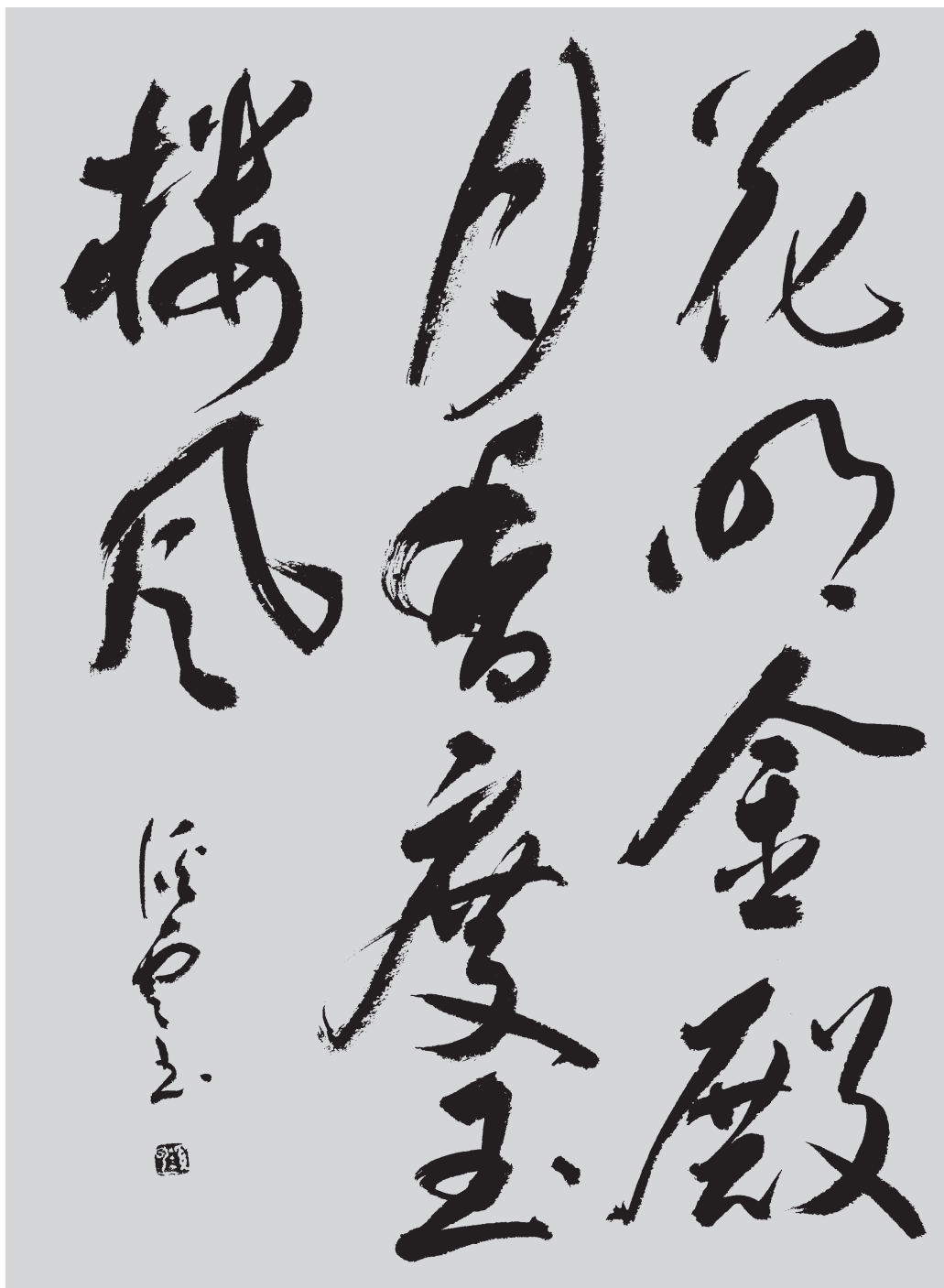


訳：花が咲いてもただひとりながめ、花が散ってもひとりぼっちでさびしがる。もし、ふたりで気持ちが通いあうのはどこなの。やっぱり咲く時と散るときでしょ。

◆随意部参考として出品してください。

神野溪雲先生書

花明金殿月 香度玉樓風（陳教宗）
花は明なり金殿の月、香は度る玉樓の風。

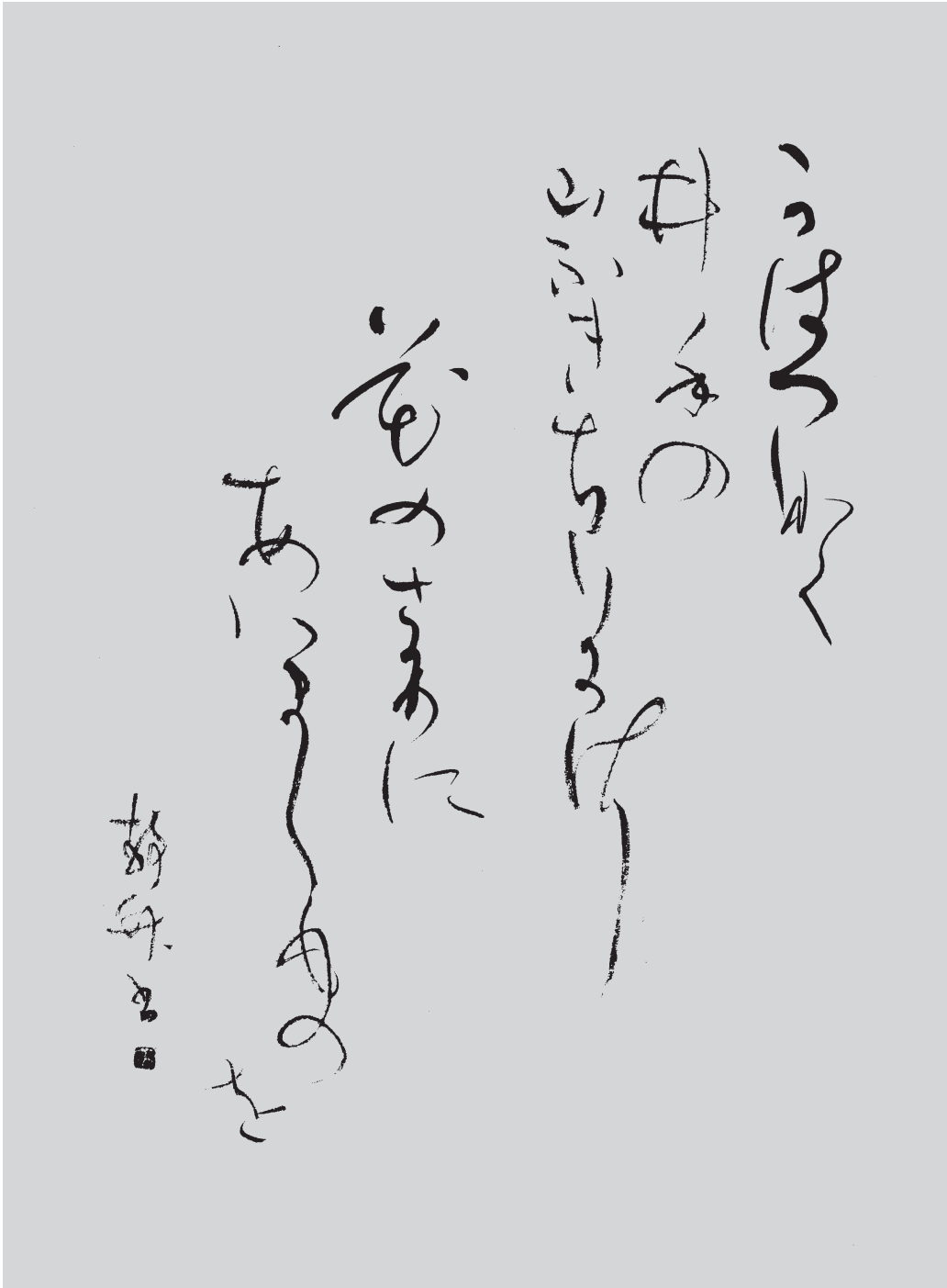


訳：花は美しき御殿の月に照らされて明らかに、香は美しい楼の風に吹き送られるのである。

添削又は手本希望者は本会規定により、神野溪雲先生（〒204-0004 清瀬市野塩5-205-5）に直接お申し込みください。

鮎川静竹先生書

かはづなく井手の山ぶきちりにけり花のさかりに逢はましものを
可はつ那久井手の山ぶきちり尔けり花のさ可利にあ八末しものを
(古今和歌集 読人しらす)



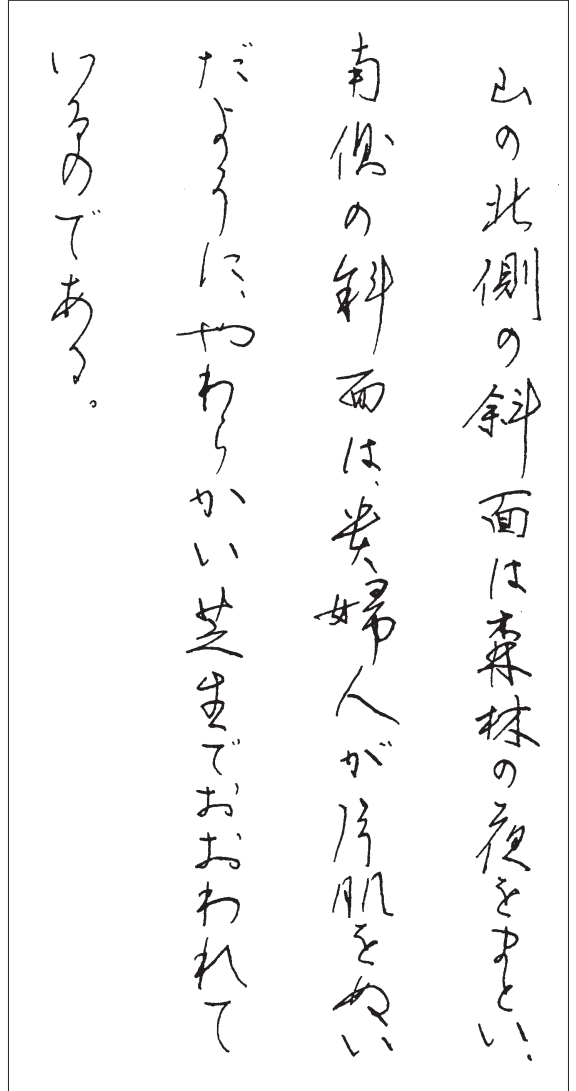
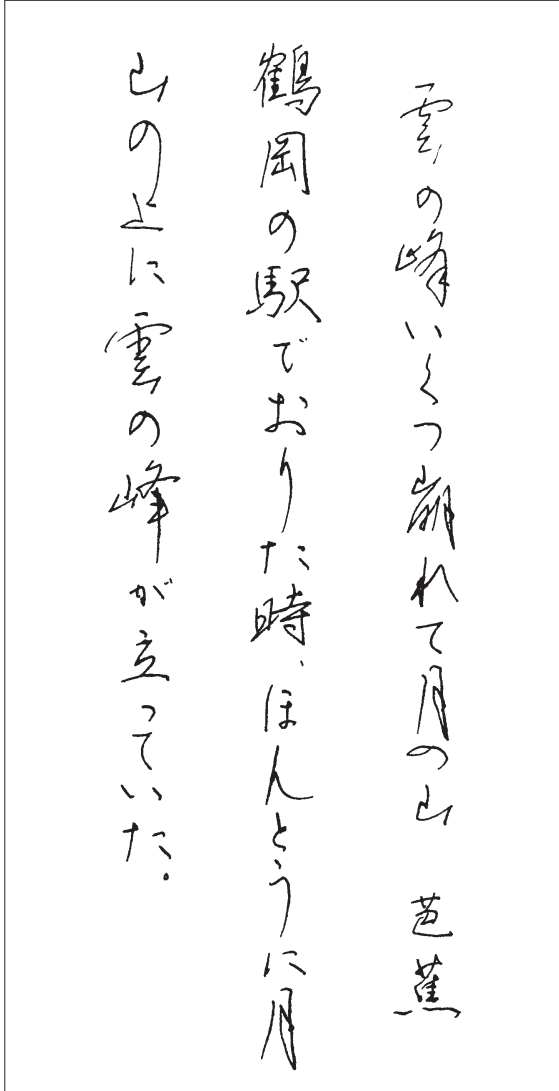
添削又は手本希望者は本会規定により、鮎川静竹先生（〒145-0063 大田区南千束1-23-7）に直接お申し込みください。

石原春香先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

山の北側の斜面は森林の夜をまとい、南側の斜面は、貴婦人が片肌をぬいだように、やわらかい芝生でおおわれているのである。

「草原の記」司馬遼太郎

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に、次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (5) 課題1 六〇〇円
- (6) 課題2 三〇〇円

課題1 石原春香先生

課題2 〒三七〇〇〇八七

高崎市楽間町二三四ノ二一

課題2 (初段階以下)

雲の峰いくつ崩れて月の山 芭蕉 鶴岡の駅でおいた時、ほんとうに月 山の上に雲の峰が立っていた。

「日本百名山」深田久弥